

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語表現Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0055		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	機械工学科		対象学年		2		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	MY WAY : English Expression I (三省堂)						
担当教員	後川 知美,古川 みき						
到達目標							
日常生活の様々な場面に応じた基本表現・文型・文法を中心に学習し、身近な生活や自分の考えを具体的に英語で表現する技能を身につける。練習を通じて習熟をはかる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	身近な話題に関して相手とコミュニケーションを図るための語彙を80%以上理解できる。		身近な話題に関して相手とコミュニケーションを図るための語彙を70%程度理解できる。		身近な話題に関して相手とコミュニケーションを図るための語彙を60%程度理解できる。		身近な話題に関して相手とコミュニケーションを図るための語彙を理解できない。
評価項目2	英文を構成する文構造や、文法事項を80%以上理解できる。		英文を構成する文構造や、文法事項を70%程度理解できる。		英文を構成する文構造や、文法事項を60%程度理解できる。		英文を構成する文構造や、文法事項を理解できない。
評価項目3	身近な事柄について、80%以上論理的かつ正確に書くことができる。		身近な事柄について、既習の構文を用いて70%程度書くことができる。		身近な事柄について、既習の構文を用いて60%程度書くことができる。		身近な事柄について、自分の考えを英語を用いて表現できない。
学科の到達目標項目との関係							
教育目標 (G)							
教育方法等							
概要	第4学期開講 自分の考えを英語で表現し、コミュニケーションできるように、英語の決まりや文の形を理解し、声に出して読んだり、書いたりしてトレーニングすることにより、表現力を高めます。						
授業の進め方・方法	各レッスンで学習する文法事項の解説、例文の暗唱後、練習問題をします。また学習した文法事項やテーマを含んだ簡単なリスニングと音読も行います。						
注意点	予習をし、教科書の問題を解いたうえで、授業に臨む必要があります。音読の際は大きな声を出しましょう。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス Lesson10の復習		シラバスから、学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 不定詞の名詞的用法について復習できる。		
		2週	Lesson11 不定詞		不定詞の副詞的用法、形容詞的用法について理解し、「～するために…する」「～するための…」などと表現できる。		
		3週	Lesson12 動名詞		動名詞について理解し、「～すること」などと表現できる。		
		4週	Lesson13 分詞		形容詞の働きをする現在分詞・過去分詞について理解し、「～している人/もの」「～された人/もの」などと表現できる。		
		5週	Lesson14 分詞		補語として使われる分詞、分詞構文について理解し、「ずっと～している」「～しながら…する」などと表現できる。		
		6週	Lesson15 知覚動詞／使役動詞		知覚動詞、使役動詞について理解し、「…が～するのを見た」「…に～させる」などと表現できる。		
		7週	Review Exercises3		Lesson11～15のまとめの問題演習をし、理解を深めることができる。		
		8週	小テスト まとめ		Lesson16までの理解度を確認できる。		
	4thQ	9週	Lesson16 比較		比較級、最上級について理解し、「～より…」「いちばん…だ」などと表現できる。		
		10週	Lesson17 比較		as…as～を用いた比較、最上級の意味を表す表現について理解し、「～と同じくらい…だ」「～よりも…なものはない」などと表現できる。		
		11週	Lesson18 関係代名詞		主格と目的格の関係代名詞について理解し、「～が…したもの」などと、人や物に説明を付け加えることが出来る。		
		12週	Lesson19 関係代名詞		whose, what, thatなどの関係代名詞について理解し、「～のものである…」「～であるもの」などと表現できる。		
		13週	Lesson20 関係副詞		関係副詞について理解し、「～である場所」「～であるとき」などと、場所や時、方法などを説明できる。		
		14週	Review Exercises4		Lesson16～20のまとめの問題演習をし、理解を深めることができる。		
		15週	期末試験				
		16週	試験返却・解答解説 まとめ 授業改善アンケートの実施		試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト	合計
総合評価割合	60	10	0	10	0	20	100
知識の基本的な理解	50	10	0	0	0	20	80
思考・推論・創造への	10	0	0	0	0	0	10
汎用的技能	0	0	0	0	0	0	0
態度・志向性(人間力)	0	0	0	10	0	0	10
総合的な学習経験と	0	0	0	0	0	0	0